

ウイルス性感染症と臨床検査法

逆受身赤血球凝集反応

逆受身赤血球凝集反応 (PA、PHA)

赤血球やラテックス粒子などにウイルス特異抗原を吸着させたものを、被検血清と反応させると、そのウイルスに特異的な抗体が存在すると赤血球やラテックス粒子に凝集が起こります。これを利用した方法です。

抗体の
検出法



抗体の検出法